

令和2年度 学校評価アンケート【教職員】の分析

肯定的評価・・・a「よくあてはまる」とb「ややあてはまる」を合わせたもの
否定的評価・・・c「あまりあてはまらない」とd「あてはまらない」を合わせたもの

◎肯定的評価が多いもの（今年度80%以上）

- ・29項目中23項目において、肯定的評価が多くなっている。
（昨年度の肯定的評価は、26項目中20項目）
- ・次の項目は肯定的評価が100%であった。（昨年度は4項目）
項目9：本校では、快適な学校の環境を築くため施設の整備に力を入れている。
項目12：教職員は体罰を行っていない

○肯定的評価は多いといえないものの（今年度80%未満、60%以上）、比較的良い評価のもの

| | |
|--------------------------|-------|
| 項目26：授業研究に励む環境が整っている | 76.6% |
| 項目1：校訓「日日新、又日新」を理解している | 72.8% |
| 項目25：学校行事が精選されている | 68.1% |
| 項目29：本校のICT機器は十分に整備されている | 63.8% |

●肯定的評価が少ないもの（今年度60%未満）

| | |
|-----------------------------|-------|
| 項目28：新型コロナウイルス感染防止対策は十分である。 | 46.8% |
| 項目17：保護者への情報提供は十分行われている。 | 36.2% |

[まとめ]

- ① 項目25、26、29は、管理職・各分掌等での改善課題といえる。授業研究やICT機器の整備については最重要課題と位置づけ、率先して研修に励む体制づくりやICT活用などについて、さらなる工夫が求められる。
- ② 肯定的評価の最も低かった項目17については、どういった方法での情報提供を行うべきか、検討していく必要がある。次に評価の低かった項目28については、どういった対策が必要か、具体的な意見（課題等）を管理職または保健課に遠慮なく伝えていただきたい。そのうえで改善点を洗い出し、検討・対応していかなければならない。
- ③ 肯定的評価100%の項目についても、生徒・保護者の同様の項目において低い評価となっているものもあり、生徒・保護者の感覚と一致していない現状がある。このことを真摯に受け止め、信頼される学校となるよう、全教職員の力を出し合っていきたい。
- ④ 自由記述においては、ICTの環境整備を求める声や教科連携による授業、校務分掌の専任によるイニシアチブ、「総合的な探究の時間」の進路目標と絡めた計画を望む声があった。より良い明新館を作り上げていくための貴重な声として受け止めたい。